



東京学芸大学の高橋純教授への取材の一幕（写真）。教授の説明を咀嚼し、概念化を図るべく、私の灰色のCPUが猛烈に稼働しています……と書いて親指が止まりました（最近、短い文章はスマホで書いています）。ポワロを気取って脳細胞をCPUに例えただけで、生成AIのコラムとしては画竜点睛を欠くのではないか。生成AIは人間の「内」ではなく「外」で稼働しているイメージだからです。

内田氏によれば、基幹産業が変わると流通する語彙も変わるそうです（*）。子どもの成長に「めばえ」「実り」を重ねる比喻は、農業が基幹産業だった時代に教育界に定着し、時代の変遷とともに、「効率」「生産性」「汎用性」という言葉の使用頻度が増えたとのこと。

さて、生成AI時代にはどんな語彙が日常化するのかと考えるうちに、CPUは違うなど、「外」に向けた視線が「内」に戻ってきました。案外「概念化」「身体化」のように、人間の知性や身体に光をあてる言葉が増えるのでは。写真通りにしわの寄った眉間を揉みつつ、校了後はマッサージに行きたい私です。（河野）

* ウェブサイト「内田樹の研究室」2025年1月16日。

VIEWnext公式アカウント

LINE@

友だち募集中！



『VIEW next』のLINEを友だち登録していたら、本誌の発刊時や新コンテンツの公開時に通知が届き、ウェブサイト『VIEW next ONLINE』内の該当記事に、ダイレクトにアクセスできます。この機会にぜひ、友だち登録をお願いします！

【友だち登録の方法例】

- ・（方法①）上の2次元コードを読み取る
- ・（方法②）LINEアプリの「友だち追加」>「ID検索」で「@view21」と入力して追加

VIEWnext

高校版 2027年1月号

1月25日発刊
（予定）

Reader's VIEW

先生方からのご意見を
紹介します

2026年7月号へのご意見

特集を参考に教育活動の見直しと再構築を図りたい

7月号の特集の事例2 大阪府・私立大阪高校の記事を読み、「“オモロイ”18歳」という目指す生徒像の言語化や、オープンスクールでの生徒企画など、スローガンが実際の教育活動に結びついている点に感銘を受けた。生徒に分かりやすい言葉で目標が示されているからこそ、生徒主体のワクワクした活動が生まれているのだろう。また、特集全体を通じて、スクール・ポリシーに沿って「本当に目指す姿につながっているか」を見直すことの大切さを痛感した。『課題整理』の図3「自校の取り組みの現状を整理する4象限マトリクス」を活用して本校の取り組みを整理し、「本特集を振り返って」にまとめられていた特色化・魅力化を推進するステップを参考に、生徒・教師双方に分かりやすい方針の下での教育活動の見直しと再構築を校内に提案したい。 静岡県立浜名高校・定時制 萩 一樹

学校教育目標を踏まえて生徒と地域をつなげる

7月号の特集では、地域連携を学校の特色化や教育課程に位置づけ、行政と連携してプロセス重視の仕掛けをする事例3 岩手県立葛巻高校の実践が参考になった。探究学習においてだけでなく、生徒が主体的に地域とつながるためには、教師の負担を抑えつつ、学校教育目標を踏まえて、行政やNPO、町内会などの関係団体と生徒を結びつける工夫が必要だ。公立高校の管理職である私にとって、高校の特色化・魅力化は、社会が変化する中で特に公立高校が果たすべき重要な課題だと考えている。 広島県 匿名希望

自分ならどう答えるか、深く考えさせられた

生徒と面談を行う際は、事前に成績や志望校などを把握し、希望進路の実現に向けた具体策を生徒と一緒に考える場にするように心がけているが、7月号の「先生なら、どうしますか？」の岩手県立水沢高校の佐藤紘大先生の記事を読み、生徒がその志望に至った背景にまで目を向け、より多くの情報を基に向き合うことが求められていると感じた。記事のように「東大に行ったら、私の人生の何が変わるんでしょうか？」と生徒から言われたら、自分ならどう答えるかと深く考えさせられた。

石川県・国立金沢大学人間社会学域学校教育学類附属高校 宮崎亮太

2つの記事から考えた、高い目標とは何か

7月号の「指導変革の軌跡」の富山県立高岡高校の記事は、「高い目標とは何か」を突き詰めて考えるきっかけとなった。同号の「先生なら、どうしますか？」の記事にも共通するが、なぜ東京大学なのか、なぜ難関国立大学の合格者数で語るのか。「個別最適な学び」が提唱されているが、大学のブランドに依存した価値観を前提にしていないかと疑問に思うと同時に、自省させられた。

愛知県県民文化局学事振興課 野々山 新

次期学習指導要領の理解に役立つ新連載

7月号の新連載「そうだったのか！教育課程」のウェブ連載記事には、次期学習指導要領の議論において、1単位をこれまでの約半分にあたる「17単位時間」とする新単位の導入が検討されていることなど、最新情報が解説されていた。次期学習指導要領の趣旨を理解するために大切なコーナーになるだろう。

学校法人鈴鹿享栄学園 鈴木達哉